

【第2次札幌新まちづくり計画 平成20年度進行管理評価結果】

『政策目標3 高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街』

重点課題1 高齢者の地域生活支援の充実

< 施策の基本方針 >

平成23年頃には65歳以上の高齢者が21%を超える超高齢社会を迎えると予測される中、高齢者が安心して健やかに地域生活を送れるよう、夜間対応型の訪問介護サービスなど高齢者への介護・保健福祉サービスの充実を図るとともに、多様な価値観を持つ高齢者が生きがいを持てるよう、さまざまな社会参加の機会を拡充します。

事業費の進捗率

(H19決算額 + H20予算額) 1,108,211千円 / (計画事業費) 4,147,000千円 : 26.7%

施策別の主な取組内容

19年度(実績)

【施策1】社会参加の機会の拡充と社会貢献への支援
 ・福祉除雪の利用世帯 3,930世帯数
 ・シニアチャレンジ事業 新規3団体
 ・シニアサロンモデル事業 新規4カ所
 ・敬老優待乗車証の申請 170,484人

【施策2】高齢者の安心を支える地域福祉力の向上
 ・高齢消費者被害防止ネットワーク事業を試行(中央、北、東)
 ・「さっぽろ孤立死ゼロ推進センター」の設置

【施策3】介護・保健福祉サービスの充実による健やかな地域生活の支援
 ・地域包括支援センター 専門職員数132人
 ・地域密着型特別養護老人ホーム 1カ所、定員29人
 ・夜間対応型訪問介護事業所 3カ所開設

20年度(予定)

【施策1】社会参加の機会の拡充と社会貢献への支援
 ・福祉除雪の利用世帯 4,200世帯数
 ・シニアチャレンジ事業 新規13団体
 ・シニアサロンモデル事業 新規3カ所
 ・敬老優待乗車証の申請 180,075人
 ・「ねんりんピック北海道・札幌2009」開催に向け実行委員会の開催

【施策2】高齢者の安心を支える地域福祉力の向上
 ・高齢消費者被害防止ネットワーク事業を全市で実施
 ・「さっぽろ孤立死ゼロ推進会議」の開催(年2回)
 ・「(仮)日常生活あんしんサポートセンター」の開設

【施策3】介護・保健福祉サービスの充実による健やかな地域生活の支援
 ・地域包括支援センター 専門職員数144人
 ・地域密着型特別養護老人ホーム 2カ所、定員合計56人

市民・企業等との協働の状況

市民との連携、市民参加
 ・福祉除雪事業：多くの住民が地域協力員として参加(2,612人)
 ・さっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワークモデル事業：さっぽろ孤立死ゼロ推進会議において、福祉のまち推進センター、民生委員児童委員、老人クラブ、マンション管理組合等がメンバーとして参加

企業等との連携・協働
 ・敬老優待乗車証交付事業：交通事業者が利用実績額の20%を負担
 ・福祉除雪事業：地域の企業、学校、福祉施設、NPOなど様々な団体が参加(219団体)
 ・高齢消費者被害防止ネットワーク事業：消費者被害の早期発見のため、居宅介護支援事業所や北海道警察などと連携

市民・企業等が参加しやすい環境づくり
 ・福祉のまち推進事業：活動や拠点の借上げ費用の支援や、パンフレット、チラシの活用により、地域の支え合い活動を支援

評価(成果)と課題

【施策1】社会参加の機会の拡充と社会貢献への支援
 ・はつらつシニアサポート事業：高齢者が生きがいをもって地域生活を送るための新たな枠組みとして着実に展開
 ・福祉除雪事業：利用世帯の満足度94.3%と高い評価
 地域住民や関係団体などとのネットワークの構築による情報の共有化 事業効果の継続的な検証及び見直し
 主体的なまちづくり活動の担い手の拡大と育成

【施策2】高齢者の安心を支える地域福祉力の向上
 ・高齢消費者被害防止ネットワーク事業やさっぽろ孤立死ゼロ安心ネットワークモデル事業：高齢者を取り巻く今日的課題に対応するための新たなネットワークとして発展
 各関係機関との連携強化 各ネットワーク間の相互連携や情報共有 継続的な事業周知

【施策3】介護・保健福祉サービスの充実による健やかな地域生活の支援
 ・地域包括支援センターにおける相談業務や介護予防事業：高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送るための事業として着実に浸透
 地域包括支援センターや介護予防センターなどの拠点施設の拡充及び人員強化

今後の重点取組

安心して日常生活をおくるために～複雑化・高度化する社会的諸問題への対応
 「高齢消費者被害防止ネットワーク事業」「(仮)日常あんしんサポートセンター」：各分野の専門家と連携を深めるなど事業の普及促進

住み慣れた地域で自立した生活をおくるために～介護予防支援の拠点整備
 地域包括支援センターや介護予防センターの整備・充実：安定した介護予防サービスの供給

主な達成目標の状況

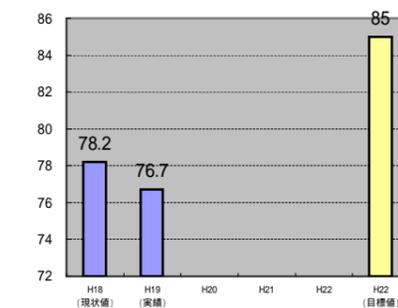
達成目標名	目標値(目標年度)	H18(現状)	H19(実績)
地区福祉のまち推進センター拠点設置数(累計)	74地区(H22)	58地区	59地区
〔福祉除雪〕利用世帯の満足度	90%以上(H22)	90.2%	94.3%
シニアサロンモデル事業設置数(累計)	20カ所(H22)	6カ所	10カ所
ねんりんピック北海道・札幌2009の開催	開催(H21)	開催準備	開催準備
消費生活みまもり協力員の配置区数	10区(H20)	-	3区
〔高齢者、障がい者の生活あんしん支援〕総合的な相談窓口の設置	設置(H20)	検討	検討
〔さっぽろ孤立死ゼロ〕市民啓発に出向いた回数(参加人数 累計)	84回(H22) (2,520人)	12回 (360人)	18回 (818人)
認知症サポーター養成数(累計)	9,000人(H22)	1,862人	4,207人
借上市営住宅の認定戸数	1,298戸(H22)	894戸	986戸
(白石区)地域における要援護者への体制づくり	全地区での取り組み(H22)	-	モデル地区の選定
一般高齢者の介護予防事業の開催回数	2,645回(H22)	2,645回	2,179回
〔夜間対応型訪問介護〕利用者数	460人/月(H22)	-	12人/月
〔若年性認知症支援〕交流会などへの当事者の参加者数	60人(H22)	32人	23人
高齢者ひとくち講座開設回数	180回以上(延べ)(H22)	-	-
口腔ケアに関する介護予防事業の実施回数	500回(H22)	241回	220回

主な施設・サービスの整備水準

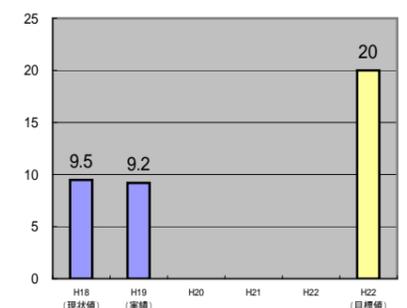
施設(サービス)名	整備水準	H18(現状)	H19(実績)
敬老優待乗車証	7万円(H22)	5万円	5万円
高齢者向け優良賃貸住宅	347戸(H22)	147戸	147戸
地域包括支援センター(介護・健康何でも相談センター)	21カ所(H22)	17カ所	17カ所
特別養護老人ホーム	56カ所(H22)	48カ所	49カ所

成果指標等の動向

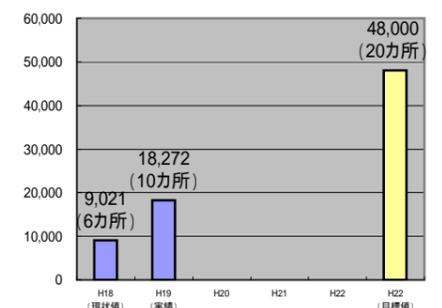
週2回以上外出する高齢者の割合(単位:%)



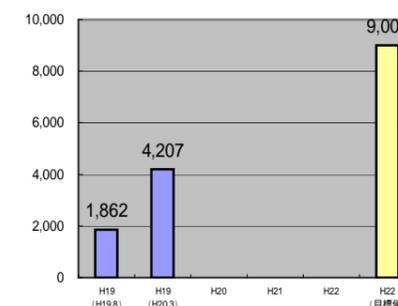
町内会やボランティア活動、老人クラブ活動をしている高齢者の割合(単位:%)



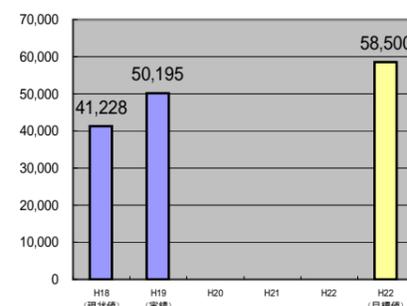
シニアサロンに参加している人数(箇所数)(単位:人)



認知症サポーター養成数(累計)(単位:人)



一般高齢者の介護予防事業への参加者数(単位:人)



転倒・骨折予防事業への参加者数(単位:人)

